

子育て相談支援

子育て等に関わる悩み相談を子育て支援センター相談員が行います。常時子育てに関する相談は実施していますが、平日にお出かけできない方などお気軽にご利用ください。

■日時 10月18日(日) 午前9時30分～午後4時
 ■場所 子育て支援センター
 ■内容 子育ての不安・子どもの発達に関する事など
 ■問合せ 子育て支援センター ☎71-1137
 ※別日のご希望がある場合は、ご相談ください。

献血にご協力を

■日時 10月16日(金)
 午後2時～4時
 ■場所 那須町役場駐車場
 ■問合せ 保健センター
 ☎72-5858

マダニの被害に 要注意!

西日本では、ウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより、重症熱性血小板減少症候群を発症し死亡する患者の発生が報告されています。

▼マダニに咬まれたら

マダニ類の多くは人などに取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間(数日から長いものは10日間以上)吸血しますが、咬まれたことに気がつかない場合も多いと言われています。吸血中のマダニに気付いた際、無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したりマダニの体液を逆流させてしまったりする恐れがあるので、すぐに取れない場合は医療機関で処置してもらってください。

咬まれて数週間程度は、体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けてください。

▼予防策

- ①マダニの活動が盛んな春から秋にかけては注意しましょう。
- ②草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン・長靴で、シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる。また、帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。服は明るい色のもの(マダニを目視で確認しやすい)や化学繊維素材のもの(マダニが付きにくい)がお薦めです。
- ③屋外活動後は入浴をし、マダニに刺されていないか確認してください。特に、脇の下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部(髪の毛の中)などがポイントです。

▼マダニとは

マダニ類は、固い外皮に覆われた比較的大型(種類によりますが、成ダニでは、吸血前で3～8mm、吸血後は10～20mm程度)のダニで、主に森林や草地等の屋外に生息しており、市街地周辺でも見られます。

すべてのマダニが重症熱性血小板減少症候群(SFTS)ウイルスを保有しているわけではありません。日本のマダニのSFTSウイルスの保有状況については現在国で調査中です。

▼問合せ 保健センター
 ☎72-5858



バランスアップ栄養講座参加者募集 (食生活改善推進員養成講座)

食生活を中心とした健康づくり講座を開催します。「食べること」は「生きること」ですね。生涯にわたって心から健康で、質の高い生活を送るために「食べること」を一緒に考えてみませんか。食生活改善推進員とは、食生活の改善や健康づくり活動を推進する健康づくりボランティアをさせていただきます。

時30分(②は午前9時30分～正午、調理実習はありません。)

▼場所 保健センター
 ▼定員 先着15名(全日程参加できる方)、老若男女問わず大歓迎です。
 ▼参加費 1,300円(テキストト代)
 ▼持参品 エプロン、手拭きタオル、三角巾、ご飯茶碗、コップ、箸、筆記用具
 ▼申込・問合せ 保健センター
 ☎72-5858

▼日程 ①11月5日(木)、②12月11日(金)、③1月14日(木)、④2月12日(金)、⑤3月3日(木)
 ▼時間 午前9時30分～午後2時

ファミリーサポートセンター講演会

「子ども・子育て家庭の現状と地域でのサポートの必要性」



八溝山周辺地域定住自立圏協定市町合同の講演会が開催されます。

▼日時 11月17日(火) 午後1時30分～3時30分(受付午後1時～)

▼会場 大田原市市民交流センター(トコトコ大田原3階)

▼内容 子育てを取り巻く環境の変化

・地域社会の変容と子どもへの影響
 ・これからの子育て支援とは
 ・ファミリーサポートセンターの活動と役割
 ▼講師 小林 恭子氏(一般財団法人 女性労働協会)
 ※参加希望の方は、電話でお申し込みください。

▼申込み・問合せ 子育て支援センター ☎71-1137